



ごみカレンダー
が4ページ
にあります。

NO.668
平成24年

9月1日号

この広報紙は、環境に
配慮したバージンハルプ
を使用しています。

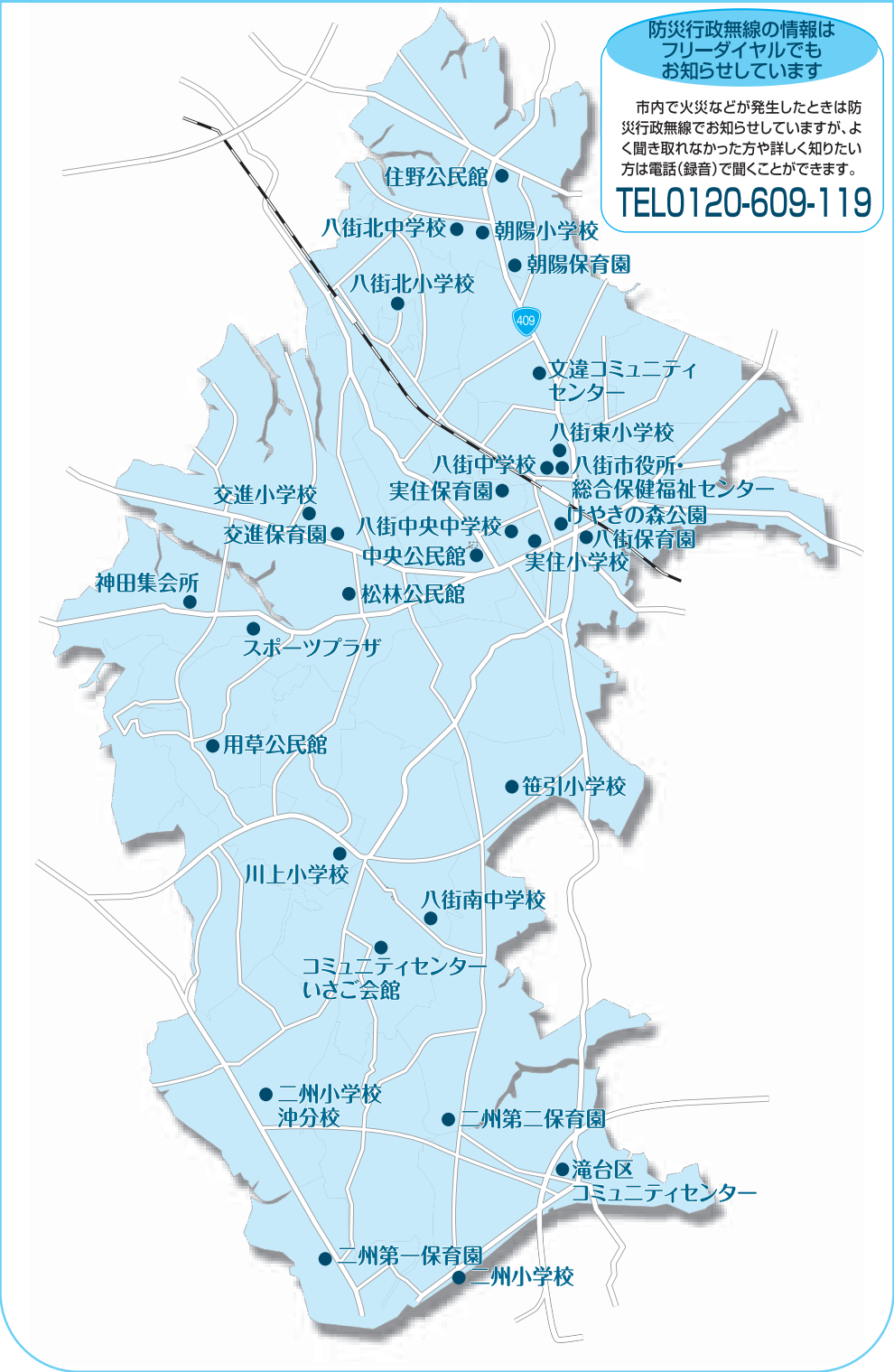
●発行 八街市
●編集 総務部秘書広報課
●発行日 毎月1日・15日
〒289-1192
千葉県八街市八街ほ35番地29
☎(043) 443-1111(代)
ホームページ
<http://www.city.yachimata.lg.jp/>

人口の動き 8月1日現在 人口 75,189人 (前月比 -136人) 男 38,019人 女 37,170人 世帯数 30,028世帯

市内避難場所

日ごろの備えは万全ですか。●で表示している施設が、災害時などの際の避難場所となります。家族で、または地域で協力しあい、被害を最小限に食い止める態勢を整えましょう。

- 飲料水・非常食・救急薬品・貴重品・ライト・ラジオなど非常持ち出し品を常備しましょう。
- 家族で避難場所・連絡方法・役割分担などを確認しておきましょう。
- また、避難する際は、必ず電気・ガス・水道の始末をしてから避難しましょう。



防災行政無線の情報は
フリーダイヤルでも
お知らせしています

市内で火災などが発生したときは防
災行政無線でお知らせしていますが、よく
聞き取れなかった方や詳しく知りたい
方は電話(録音)で聞くことができます。

TEL0120-609-119

9月1日は防災の日

◆あの日を忘れないために◆

東日本大震災の発生から、9月11日で1年と半年。被災地では、復興に向けて動き出
してはいますが、いまだに津波や地震の深い跡が残ります。
今回の震災では、本市に大きな被害はありませんでしたが、「災害は忘れたころにや
ってくる」を、身をもって体験した方も多かったはず。「自分の身は自分で守る」を基
本に災害に落ち着いて対処できるよう、準備をしましょう。
東日本大震災では、広範囲にわたって、津波による甚大な被害を受けました。また、
7月には熊本県や大分県などの九州北部地方で記録的豪雨による、河川の氾濫や土砂崩
れなどが発生しました。
災害はいつ、どこで起こるかわかりません。災害からあなたと家族を守るにはあな
た自身。普段から、「自分の身は自分で守る」という自立した備えが必要です。
災害の知識を見直し、防災の準備や日ごろから災害に対する想像力を働かせる習慣を
身に付けるようにしましょう。
詳しくは、市役所防災課 ☎443-1119へ。

地震が起きたら

身の安全を守りましょう

家の中などにいたときは、
テーブルや机の下にもぐつ
たり、座布団などで頭を守
りましょう。また、倒れや
すい家具から離れましょう。
外にいたときは、プロッ
ク塀や電柱、建物、崖、海
岸など危険なところから離
れましょう。
火を消しましょう
地震で怖いのは、その後
に発生する火災です。小さ
な揺れでも火を消す習慣を
つけましょう。

窓や出入口を

開けておきましょう

地震で窓や出入口などが
ゆがんで開かなくなること
があります。小さな揺れで
も窓や出入口を開ける習慣
をつけましょう。

あわてて外に出ない

ようにしましょう

地震の際、あわてて外に
出ると屋根瓦や窓ガラスな
どが落ちてきて、ケガをす
ることがあります。外に出
るときは、注意しましょう。
また、部屋の中でも割れ
たガラスなどでケガをする
ことがあります。居間や寝
室などにスリッパや靴を用
意しておきましょう。

正しい情報を聞きましょう

うわさやデマに振り回さ
れないよう、ラジオやテレ
ビで正しい情報を聞きまし
ょう。

家族で話し合いを

しておきたいこと

災害時の連絡方法や

避難場所の確認

家族が離ればなれになっ
たときの連絡方法や避難場
所を確認しておきましょう。

ご自宅の安全確保

ご自宅の危険個所を確認
し、必要に応じた修理や補
強などをしましょう。
特に、家の中では家具の
転倒や落下を防ぐとともに
家具の配置換えなどを行い、
安全なスペースを確保しま
しょう。